

～縣市共同～ 官官民連携による地方球場整備について



岩手県盛岡市 いわて盛岡ボールパーク（きたぎんボールパーク）

整備の背景



【盛岡市保有】

盛岡市営野球場（昭和13年建設） 築85年

- ・両翼87m、中堅118m 公認野球規則満たさず
- ・内野：土、外野：天然芝
- ・ナイター照明、電光式スコアボード：無し
- ・朝野球や軟式野球中心に利用

→ 老朽化等によるサービス水準の低下

整備の背景



【岩手県保有】

岩手県営野球場（昭和45年建設） 築53年

- ・両翼91.5m、中堅122m 公認野球規則満たさず
- ・内野：土、外野：天然芝
- ・硬式野球を中心に利用され、楽天を中心としたプロ野球一軍公式戦、高校野球岩手大会など開催

→ 老朽化等によるサービス水準の低下

整備の背景

盛岡市と岩手県における共通の課題

- 施設の老朽化及びサービス水準の低下
- 整備、改修費用の捻出
- 人口減少の中での公共施設の保有最適化
- 施設管理費の削減

→ 高水準なサービスを維持しつつ、公共施設の集約化等を進める必要性

整備の背景

共通の課題を解決するため・・・
岩手県と盛岡市の共同整備
(スポーツ施設としては全国初)

既存の市営野球場・
県営野球場を集約化し、
新たな野球場を整備



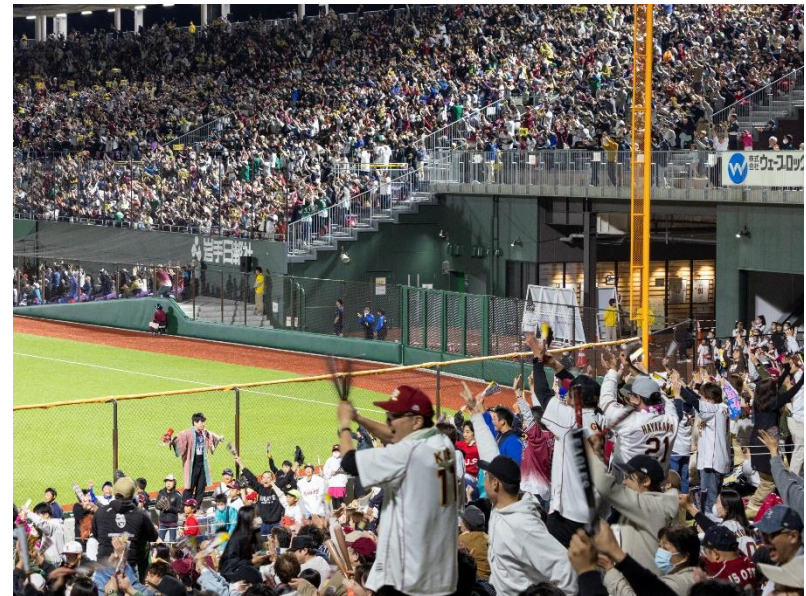
共同整備のメリット

双方の課題解決に寄与するのみならず..

● 県・市共同整備の事業スキームを構築し、双方がノウハウを得ることができる

● 単独整備よりも高規格な施設整備が可能

→ プロ野球一軍公式戦、高校野球など大規模なスポーツイベントが開催できる



初のプロ野球一軍公式戦

共同整備のメリット

●（単独整備よりも高規格な施設整備が可能）

→ 合宿誘致等も含めスポーツツーリズムの拠点となる

→ 野球以外にも多目的に日常から利用でき、交流推進、地域活性化に寄与できる



東京大学野球部の合宿



野球場スコアボードを利用したラグビーW杯パブリックビューイング

事業方式

民間活力を活用したPFI-BTO方式

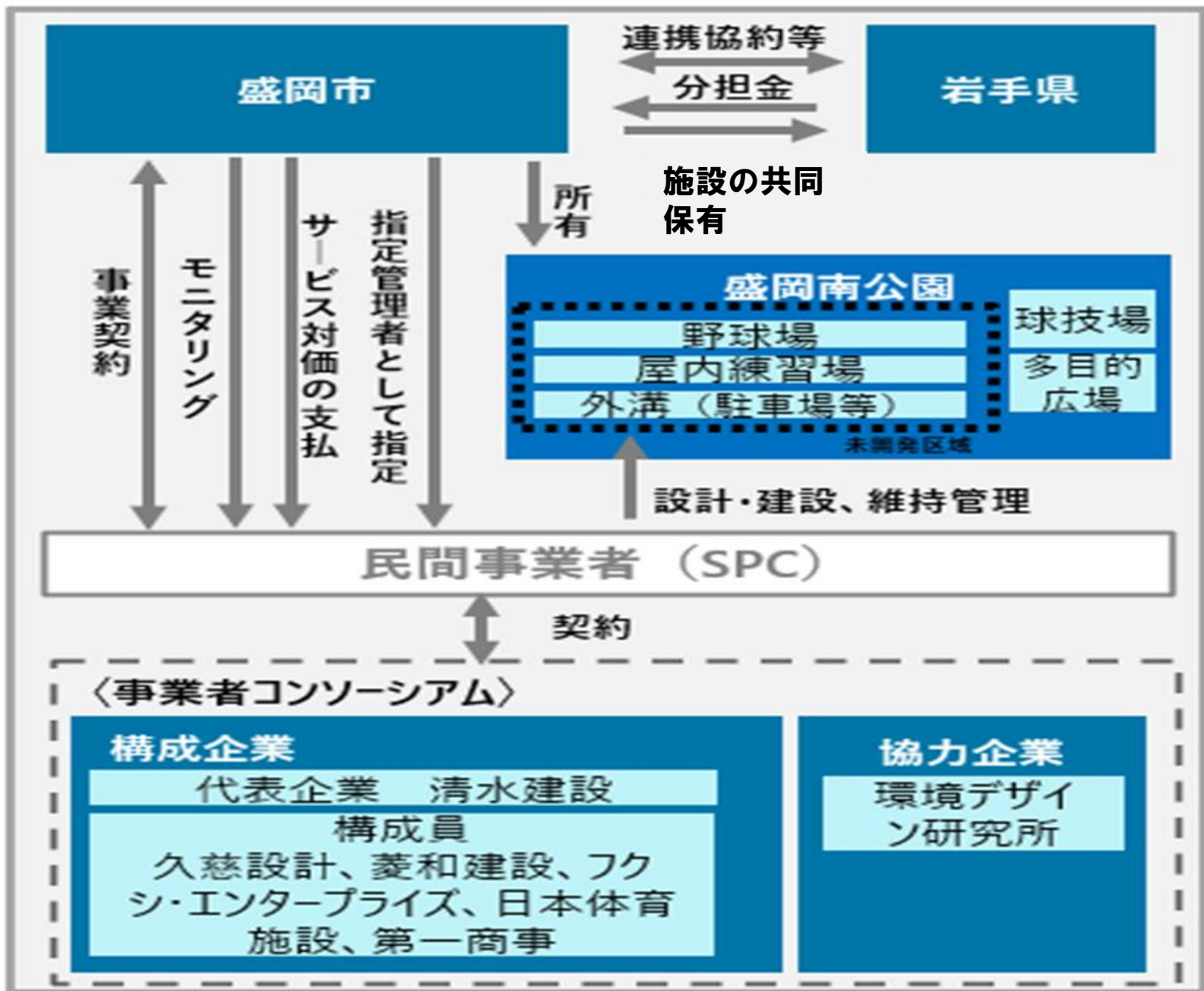
※内閣府「民間資金等活用事業調査費補助事業」により民間活力導入可能性調査を実施し、同手法での整備が望ましいとの結果が得られた。

※可能性調査時の従来方式との比較では、12.1%程度の費用削減効果(VFM)が見込まれた。

■ ■ ■

縣市共同によるPFI事業 「**官官民連携**」

【事業スキーム】



事業概要

- 1 施設名 いわて盛岡ボールパーク(きたぎんボールパーク)
※令和5年4月1日から5年間のネーミングライツ契約を
(株)北日本銀行と締結(年額1,389万円(税抜))
- 2 整備地 盛岡市永井7地割16番地2
盛岡南公園内(盛岡市保有)の未開設区域9.18ha
- 3 事業期間 令和2年3月26日から令和20年3月31日まで
(施設引渡日 令和5年3月31日)
- 4 事業内容
 - (1) 施設整備業務(設計業務、建設業務、工事監理業務)
 - (2) 運営等業務(運営業務、維持管理業務) ※15年間(R5~R19)
 - (3) 事業者の管理運営業務(プロジェクトマネジメント・経営管理業務)
- 5 事業主体 岩手県、盛岡市
- 6 事業方式 民間活力を活用したPFI-BTO方式

- 7 契約金額(R5.6.27現在) 11,052,095,925円(税込)
内訳:施設整備費 約83.4億円、運営・維持管理費 約27.1億円
【参考】事業者募集時の上限額 12,120,739,000円

8 県市の負担割合

(1) 施設整備費 県40%、市60%

当初市では1万人規模の単独整備を検討していたため、その整備相当額を負担することとし、県では実際に整備する2万人規模の高規格とした場合の差額相当分を負担する考え方

(2) 運営・維持管理費 県50%、市50%

県民・市民ともに利用者が公平に利用できるよう利用調整を行うことを基本とし、負担を同率とする考え方

9 財源

(1) 野球場 公共施設等適正管理推進事業債(集約化・複合化事業)
充当率:90%、地方交付税措置50%

(2) 屋内練習場 一般単独事業債 充当率:75%、地方交付税措置無

(3) その他 一般財源により、平準化して事業契約期間中に割賦払い

施設概要

1 野球場

- ・構造等 鉄骨造、地上3階建
- ・フィールド
両翼100m、中堅122m、全面人工芝
- ・観客席
20,000席（内野固定12,000席＋外野芝生8,000席）



2 屋内練習場

- ・構造等 鉄骨造、地上2階建
- ・フィールド 50m×50m、全面人工芝



3 駐車場 1,040区画（うち車いす用40区画）

4 外構等 キッズスタジアム、イベント広場等

盛岡南公園全体図

今回整備エリア

既存エリア



施設の主な特徴

●「ボールパーク」としての整備

野球場、屋内練習場ともに、野球のみならず多目的に日常から利用でき、地域活性化、交流推進に寄与する「ボールパーク」として整備



駐車場を利用したイベント



屋内休憩スペース内のネット遊具

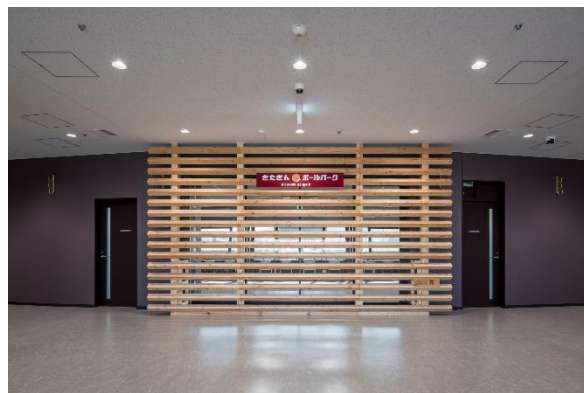
施設の主な特徴

●岩手らしさ・盛岡らしさ

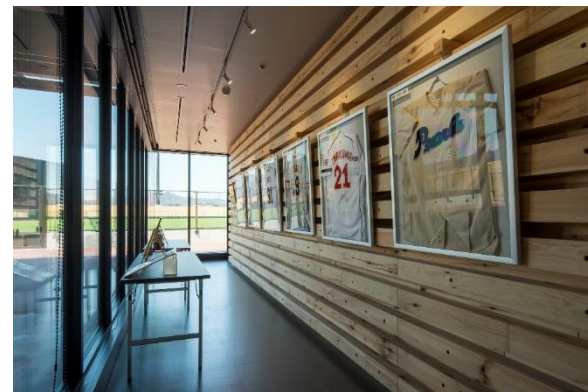
岩手県産材や盛岡市産材の使用、県ゆかり選手の展示・顕彰スペースの設置



観客出入口ゲート(盛岡市産材)



野球場正面エントランス(岩手県産材)



県ゆかり選手の展示・顕彰スペース

施設の主な特徴

● 日常使いできる公園としての機能

都市公園内のスポーツ施設として、野球場コンコースを利用したランニングコースや野球場を模した大型遊具「キッズスタジアム」など、公園機能を付加し、日常の健康づくりにも活用できる。



野球場内ランニングコース



キッズスタジアム

運営の主な特徴

●PFI方式の採用により、運営面における民間事業者の創意工夫が発揮しやすい、長期に渡る安定的なサービス提供が可能、予防保全的な維持管理による経費削減等のメリットがある。

●盛岡南公園内の他施設管理者と連携した効率的なイベント実施が可能

●運営を複数の企業体で行うため、運営・維持管理・清掃など各業務のノウハウを持った企業による質の高いサービスを提供できる。



運営者の自主事業(施設無料開放)

御清聴ありがとうございました。

